



官営八幡製鐵所 日本事務所眺望スペース

1901年に操業を開始した官営八幡製鐵所は、日本の近代化に貢献し、産業都市・北九州市の発展の礎を築きました。そして今もなお創業期の建物が残されており、2015年7月に世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産となっています。

これらの施設は製鐵所構内に立地していることから、一般には公開されていませんが、この眺望スペースから、構成資産である「日本事務所」の外観を眺望することができます。

■開場時間 9:30~17:00
(最終入場16:30)

■定休日 毎週月曜日
※月曜日が祝休日の場合はその翌日、年末年始

■入場料 無料
※注意事項/飲食、喫煙はできません。
個人利用に限り撮影可能。

地図はP10をご参照ください。



北九州の 産業観光ツアー

～ものづくりの原点に触れる旅～

北九州には、日本製鐵九州製鐵所をはじめ、産業用ロボット世界トップクラスの安川電機やトイレでお馴染みのTOTOなど、日本を代表する企業や、優れた技術力を持つ中小企業が集積しています。

これらの工場や、TOTOミュージアム、安川電機みらい館などの企業博物館、産業遺産などをガイド付きで案内する「ものづくりの街・北九州」ならではの体験型観光です。

- 費用 5,000円～8,000円程度 (ツアーによって変動。食事付のツアーもあり)
- 定員 25～40名 (ツアーによって異なります)



ツアー風景



TOTOミュージアム

お問合せ

北九州産業観光センター

(北九州市・北九州商工会議所・北九州観光コンベンション協会)

TEL 093-551-5011

ツアーについての
詳しい情報は▶



お問合せ

北九州市世界遺産課

TEL 093-582-2922

お問い合わせ先

北九州産業観光センター

(北九州市 北九州商工会議所 北九州観光コンベンション協会)

〒802-0001

北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号 AIMビル4階

TEL 093-551-5011 FAX 093-521-3956

<http://sangyokanko.com/>

北九州 産業観光 検索



令和3年6月発行 No. 2114011B



Kitakyushu

Fukuoka

Yamaguchi

産業遺産

写真提供:
北九州市
時と風の博物館

工場夜景

工場見学
資料館

環境観光

北九州の 産業観光

知的好奇心を満たす旅

KITAKYUSHU
INDUSTRIAL TOURISM

写真提供:日本製鐵株式会社九州製鐵所

ものづくりの歴史と未来を身近で体験できる。

北九州の産業観光

産業観光とは

ものづくりの現場などを訪れ、地域の人々や生産に携わっている人々との触れ合いや交流をはかるなど、広く産業に関する「見学と体験」からなる観光のことを言います。
旧来型の物見遊山的な観光とは異なり、「知的好奇心を満たす旅」として人気が高まっています。

北九州の産業観光「4本の柱」

工場夜景



北九州の工場夜景はスケールの大きさが特徴。洞海湾沿岸では化学工場やプラント群、小倉から戸畑にかけては広大な製鉄所など、多種多様な工場夜景を堪能できます。

環境観光



北九州は、1960年代に深刻な公害問題が発生しました。しかし、市民・企業・行政が一体となって公害を克服、その経験や培った技術力を活かした、環境関連産業が発展しています。環境に関する取り組みは、国内外からも高く評価されています。

工場見学資料館



北九州では、日本の近代化の礎となった製鉄所、ロボットがロボットを作る工場、衛生陶器や無添加石けんなどを職員が手作業で作る現場など、様々な工場を見学出来ます。(要予約、見学条件等あり)

産業遺産



北九州には、世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産である「官営八幡製鉄所」をはじめ、明治以降の日本の近代化を支えた産業遺産が数多くあり、蓄積された産業の歴史や先人の歩みを伝える貴重な財産となっています。

北九州で体感する5つのストーリー

北九州市は、地理的特性により、古くから交通の要衝として発展してきました。特に国内最大規模であった筑豊炭田を背後に控えた港町・若松と門司では、早くから鉄道と港湾の二大インフラが整備されました。1901年に官営八幡製鉄所が操業し、以来「ものづくりの街」として重化学工業を中心に急速な発展を遂げ、日本経済の高度成長を支えてきました。そして、産業発展の歴史は、北九州市に多くの産業遺産を生み出しました。一方、産業発展の過程で直面した深刻な公害問題を、市民・企業・行政が一体となって克服し、現在ではその過程で蓄えたノウハウで世界の環境問題克服に貢献する「世界の環境首都」への歩みを続けています。北九州市における「産業観光」は、まさに蓄積された産業の歴史・遺産を知ると同時に、現在も日本の産業界をリードする、ものづくりの街の最先端技術を肌で感じる体験が出来る、北九州市ならではの観光です。製鉄、石炭、陸海運、環境、先端技術など、5つのストーリーでめぐる旅を体感してください。

製鉄



官営八幡製鉄所の操業による鉄都・八幡の誕生。日本の近代産業は製鉄から始まり、できた鋼鉄を元にした加工工場が次々と生まれ、素材産業を中心とした北九州工業地帯への躍進が始まりました。

石炭



石炭が重要な燃料として使われていた頃、石炭は「黒ダイヤ」と呼ばれていました。かつて日本一の石炭積出港として賑わった若松南海岸通りに現存する大正期の建物群が、石炭景気に沸いた若松の歴史と発展を伝えています。

陸海運



九州の門戸として発展した港町・門司港。世界とつながる国際貿易港として、また九州における鉄道の起点として繁栄した門司港周辺には、往時の栄華を偲ばせる建造物が現存しています。

環境



ものづくり技術と公害克服の過程で培った経験と技術力が、環境産業という新たな道を拓きました。全国でもトップクラスと世界が認める「北九州エコタウン」など、次世代の環境をキーワードにした体験が出来ます。

先端技術



北九州には、ロボットがロボットを作る工場や、職人が手作業で作る衛生陶器の現場、自動車工場の生産ラインなど、幅広い業種の工場があります。それぞれの現場からは、脈々と受け継がれてきたものづくりにかける熱い思いが伝わってきます。

マイスターの熱い血潮が、ものづくりの発火点となった。

日本の近代化を推し進める明治政府は、日本で最初の銑鋼一貫生産を行う官営製鐵所を八幡の地に建設し、1901年に東田第一高炉に火入れを行いました。この象徴的な出来事は、北九州市、ひいては日本の工業発展の契機となり、その後の高度経済成長を牽引してきました。戸畑区・八幡東区のエリアでは、製鉄関連で現在も稼働している「八幡製鐵所」の工場見学の他に往時を偲ぼせる「東田第一高炉」跡、「官営八幡製鐵所 日本事務所」、製鉄用の用水確保のために造られた「河内貯水池」などの産業遺産の見学ができます。

1 日本製鉄(株)九州製鐵所

工場見学
戸畑区

住所/北九州市戸畑区飛幡町1-1

1901年の官営製鐵所として操業開始以来、一貫して日本製鐵業界のリーダーとしての役割を果たしてきた製鐵所です。展示スペースでの概要説明をはじめ、鉄鉱石を溶かして鉄を造る高炉工場と真っ赤な鋼を薄く延ばして製品を造る熱延工場の2工場が見学できます。製鐵所内には専用鉄道も通っており、敷地や設備のスケールの大きさ、製造工程で生じる熱・音・光を体感できます。



2 東田第一高炉

産業遺産
八幡東区

住所/北九州市八幡東区東田2-3-12

明治維新以降、「富国強兵、殖産興業」のスローガンのもと製鐵業の早急な確立が望まれました。このような状況下、日清戦争を契機として近代様式製鐵所設立の機運が高まり、1897年6月、八幡村に「官営製鐵所」が開庁しました。1901年2月には東田第一高炉への火入れが、同年11月作業開始式が行われました。なお、現在の東田第一高炉は第10次改修高炉であり、公称能力900トン誇る日本最初の高圧高炉として建設され、1962年の火入れから1972年の吹き卸しまで操業しました。



3 官営八幡製鐵所 日本事務所

世界遺産
八幡東区

官営八幡製鐵所操業2年前の1899年に竣工した初代本事務所、操業当時製鐵所の中核機能を担いました。中央にドームを持つ左右対称形の赤煉瓦建造物で長官室や技監室、外国人顧問技術室などが置かれました。現在も操業している製鐵所構内に立地しているため、一般公開されていませんが、眺望スペース(裏表紙にて説明)から外観を見学することができます。



【非公開施設】写真提供: 日本製鐵株式会社 九州製鐵所

4 河内貯水池

産業遺産
八幡東区

住所/北九州市八幡東区河内周辺

製鉄用水を安定的に確保するため、1919年から8年の歳月と延べ数十万人の人力を使って建設された八幡製鐵所の広大な人口ダムです。周囲の緑や自然と美しく調和したダム全景は当時の美的感覚と技術水準の高さを偲ばせました。特に、石工の伝承技による石張りのダムや橋は、切石積・野面積・割石積・自然石積など多様な組積法を駆使しており、後世に残る造形美をみせます。現在、ダム周囲にはサイクリングロードが整備され、春には数千本の桜が咲き誇ります。また、河内貯水池に架かる「南河内橋」は国の重要文化財(建造物)に指定されました。「レンティキュラートラス」と呼ばれる構造形式で建造された鋼橋で国内に唯一現存し、その橋梁技術史上の価値が高く評価されました。



街中、黒ダイヤで輝いていた。

工業化を急速に進めていた時代、石炭は世界の近代化産業に欠くことができない重要資源でした。国内最大級の規模を誇った筑豊炭田から、掘り出された石炭が若松港に次から次へと送られてきました。1898年には若松港岸壁の貯炭場にわが国初の石炭荷役用ホイストクレーンが設置され、大量の石炭が若松港から積み出されるようになりました。当時の若松南海岸は、石炭商社、海運会社が立ち並び活気にあふれた一大都市でした。若松南海岸エリアでは、門司港の船舶文化の香りとはひと味違う、石炭で繁栄した港町の物語をたどることができます。

5 旧三菱合資会社若松支店(現 上野ビル)

IS SHOP
産業遺産
若松区

住所/北九州市若松区本町1-10-17

大正2年竣工の建築物で、当時の若松経済の勢いがうかがえます。建物の内部は2~3階が吹き抜けで、鑄鉄の柱に支えられた回廊によって事務室へ入る造りです。廊下の手摺やステンドグラスがはめ込まれた光天井は竣工当時のまま残り、一見の価値があります。現在はカフェや雑貨屋などのお店も入り、映画やドラマのロケ地としても利用されています。



6 旧古河鉱業若松ビル

IS SHOP
産業遺産
若松区

住所/北九州市若松区本町1-11-18

1919年竣工の煉瓦造り二階建ビルです。若松南海岸通りに建ち、石炭景気に沸いた若松の賑わいと時の流れを静かに見守っているようです。ビル先端には三階部分まで伸びた縦線を強調する円形の塔が配置されており、煉瓦風小口タイルの柱型と窓を囲んだ石造の部分の垂直の流れを強調。堂々とした外観を有する大正建築の意匠的特徴を細部にまで残した建築物です。現在は多目的ホールや会議室として活用されているほか、若松区の歴史等を紹介する施設として地域住民などに親しまれています。



7 わかちく史料館(若築建設株式会社)

資料館
若松区

住所/北九州市若松区浜町1-4-7

1890年に若松築港会社(現・若築建設株式会社)が設立され、洞海湾の港湾整備や運営管理を一手に担いました。それにより石炭の輸送効率が飛躍的に向上、若松は日本一の石炭積出港へと発展を遂げました。わかちく史料館では、若松と共に歩んできた企業の軌跡をたどりながら、洞海湾の開発事業を中心とした若松の歴史や石炭景気に沸いた人々の暮らしに触れることができます。往時を伝える貴重な資料が多数展示され、写真、映像、模型をはじめとした豊富なコンテンツで大人から子供まで楽しく学べるようになっています。



8 石炭会館

IS SHOP
産業遺産
若松区

住所/北九州市若松区本町1-13-15

若松南海岸に現存する唯一の明治建築で、石炭積出港の歴史を象徴する建物です。若松石炭商同業組合によって明治38年に建造されたモルタル外装の木造2階建て、壁面に目地を多用し石造り風に見せています。竣工当時は建物と前面にあった棧橋の間に石の支柱と鉄柵が配置されていました。



9 旧ごんぞう小屋(復元)

産業遺産
若松区

住所/北九州市若松区本町1丁目 若松港湾合同庁舎前

若松に伝わる郷土芸能、五平太ばやしは、遠賀川や堀川を往来する川ひらた(五平太船)の船頭衆が、激しい仕事の合間に船縁を叩きやしながら、流行り唄や民謡を口ずさんだのが始まりと言われています。川筋男の心意気は五平太ばやしの甲高い木樽の音や軽快なリズムの中に息づいています。現在の五平太ばやしはごんぞう歌を火野葦平がアレンジして作ったものです。また、海岸沿いに設置された「旧ごんぞう小屋」は、かつてこの地にあったごんぞうたちの詰所を模して、平成8年に復元したものです。北九州市の産業近代化を底辺で支えた彼らの足跡を垣間見ることができます。



10 旧松本家住宅(現 西日本工業倶楽部)

食事(要予約) 産業遺産
戸畑区

住所/北九州市戸畑区一枝1-4-33

筑豊の石炭をもとに地場産業の発展に寄与し、明治専門学校(現・九州工業大学)の創立者の一人であった九州財界の重鎮、松本健次郎氏が建設した住宅兼迎賓館です。外観、室内意匠から家具・照明器具に至るまでアール・ヌーボー様式で統一された洋館と、大座敷がある書院造りの日本館から成る、明治時代の典型的な貴紳住宅です。木々の生い茂る庭園が四季を彩ります。



世界への扉は、門司で開かれた。

1889年に、石炭他5品目を扱う国の特別輸出港に指定され、1891年には門司港を拠点とする九州鉄道（JR九州の前身）が開通。門司港は名実ともに、陸海における九州の門戸となり、世界の人、物、文化が集まりました。大正中期には、神戸、横浜と並ぶ日本三大港の一つとして数えられ、重要な国際貿易の拠点となりました。門司港レトロエリアでは、当時の面影を残す建造物や鉄道関連の施設を見学することができます。

11 九州旅客鉄道(株)小倉総合車両センター 工場見学

住所／北九州市小倉北区金田3-1-1
小倉北区

1891年に門司まで開通した九州鉄道の車両整備工場として創設され、100年以上の歴史を持つ工場です。鉄道車両の検査・修繕及び改造や技術開発、計量器、測定器の修繕・管理検査等を行っており、「ななつ星 in 九州」「特急ゆいんの森号」「特急ソニック号」など九州内を走っている車両を一手に担っています。



12 旧大阪商船 産業遺産

住所／北九州市門司区港町7-18
門司区

大阪商船門司支店として1917年に竣工しました。当時は1階に大陸航路の待合室と税関の派出所が置かれ、多くの旅人で賑わいました。個性的で華やかな外観を持ち「港の美貌」と賞された美しい木造煉瓦混構造の洋館は、現在ギャラリーやホール等に活用されています。



13 九州鉄道記念館 資料館 産業遺産

住所／北九州市門司区清滝2-3-29
門司区

1891年に建築された旧九州鉄道本社屋を利用。歴代の実物車両や鉄道文化遺産の資料の展示などがあり、産業技術の発達とともに進化した鉄道の仕組みを学べます。また電車の運転シミュレーターやミニ列車を自分で運転できるミニ鉄道公園があります。



14 旧門司税関 産業遺産

住所／北九州市門司区東港町1-24
門司区

1912年に建設された左右対称に突き出す塔屋が際立つ、瓦葺平屋構造の重厚な赤煉瓦造です。昭和初期まで税関庁舎として使用されていました。館内は吹き抜けになっており、開放感に溢れています。現在は、税関資料室やカフェなどとして活用されています。



15 門司赤煉瓦プレース(門司麦酒煉瓦館) 食事 産業遺産

住所／北九州市門司区大里本町3-6-1
門司区

1913年に帝国麦酒株式会社の麦酒工場として操業し、社名を変遷しながらも平成12年までサッポロビール九州工場として使用されていた貴重な煉瓦建物を保存活用した資料館やレストラン等の複合施設です。八幡製鐵所の鉦澤煉瓦を使った「門司麦酒煉瓦館」は現存する国内最古級の本格的鉄鉦澤煉瓦建築で、館内では当時のブランド「サクラビール」やビール産業の発達と地域との関わりが興味深く展示されています。国有有形文化財登録物件。



門司麦酒煉瓦館

16 旧門司三井倶楽部 食事 産業遺産

住所／北九州市門司区港町7-1
門司区

外装に梁の骨組みや柱材を露出させ、その間を壁で埋めるハーフティンバー式の洋館。1921年、三井物産門司支店の社交場・迎賓施設として建設され、1994年になって現在の場所へ移築された国指定の重要文化財です。1922年にはアインシュタイン博士夫妻が投宿し、当時の部屋が復元されています。館内ではレストランも営業中です。



17 シャボン玉石けん(株) 工場見学

住所／北九州市若松区南二島2-23-1
若松区

1910年若松で開業し、現在では無添加の石けんを製造しています。良質な天然油脂を原料に昔ながらのケン化法で一週間かけて何度も熟成させながら肌と環境にやさしいこだわりの石けんを作っています。シャボン玉石けんの歴史や製造方法を紹介したビデオを視聴し、石けんの特徴や合成洗剤との違い、環境への影響などを実験を交えて説明した後、製造現場を見学します。



19 北九州市エコタウンセンター 資料館 工場見学

住所／北九州市若松区向洋町10-20
若松区

エコタウン事業を生きた教材として活用する環境学習拠点です。館内では、リサイクル工場の取組みや市内の環境関連企業をパネルや展示品などで紹介しています。実際にリサイクルの様子を見学できる工場見学案内も行っていきます。また、太陽光や風力等エネルギー施設の展示・紹介、見学案内も行っていきます。見学できるリサイクル工場やエネルギー施設は、曜日等によって異なります。



21 九州電力(株)新小倉発電所 工場見学

住所／北九州市小倉北区西港町64-1
小倉北区

九州電力では最初のLNG専焼火力発電所で、皆様のご家庭や工場などに、安定した電気をお届けしています。出力60万kWの発電設備が3台あり、発電所の合計出力は180万kWです。敷地面積は40万㎡（福岡PayPayドームの約5.8倍）であり、そのうち25%以上を緑化し、緑豊かな環境づくりに努めています。



18 九州製紙(株)北九州工場 工場見学

住所／北九州市八幡東区前田洞岡2-1
八幡東区

九州製紙(株)北九州工場では、西日本地域で発生する様々な古紙を再生利用し、高品質のトイレットペーパーを生産する最新鋭工場です。当工場は古紙の再生利用を通じ、森林資源の保護、ゴミの減量、紙焼却処分により発生する二酸化炭素の抑制などを行い、地球環境、地域環境の保全に大きく貢献しています。



20 環境ミュージアム 資料館

住所／北九州市八幡東区東田2-2-6
八幡東区

過去・現在・未来の環境を総合的な視点から紹介する施設です。パネルや映像、ゲームなどを駆使した多彩な展示により、北九州市の公害克服の歴史や、身近な環境問題から地球環境問題までを学ぶことができます。環境に関する様々な情報センターとして機能するほか、建物自体にも自然素材やリサイクル素材が使われ、太陽光エネルギーを取り入れるなど環境に配慮しています。ガイドによる説明や、市民ボランティア(環境学習サポーター)が語る「公害トーク」なども実施。また、見て感じて・学べる環境共生型モデル住宅「エコハウス」の見学もできます。



22 (株)フジコー 工場見学

住所／北九州市若松区響町1-110-5
若松区

2017年に創立65周年を迎えた(株)フジコーは、長年の技術研究・開発成果として、既存の溶射技術を採用・進化させ、光触媒反応による殺菌・消臭性能を極限まで高める技術「MaSSC(マスク)」を開発致しました。そこで、その成果を多くの皆様に、実感・享受頂きたく、専用工場として、2013年春、響灘臨海工業団地内に新工場を竣工させました。この素晴らしいMaSSC技術の真髄を、ご理解・体感頂けます。



進化を続ける、ものづくりの現場。

北九州には、この地で創業し、現在もお世界に羽ばたいている日本を代表する企業があります。衛生陶器のパイオニア「TOTO」、ロボットがロボットを作る「安川電機」をはじめ、自動車関連産業など、先人たちの想いと技術を受け継ぎ、高い技術力で高品質の製品を生み出しさらに発展させています。

ものづくりの街として発展してきた北九州では、幅広い業種の製造現場を見学し、最先端の技術にも触れることができます。

1901年の官営八幡製鐵所の操業以来、日本の近代化を牽引し、「ものづくりの街」として発展してきた北九州市。臨海部に立地する大規模な工場群が、深い闇の中で、美しく重厚な景観をつくり出します。黄色やオレンジ…さまざまな光に映し出される工場。闇夜に浮かぶ建物の輪郭や不規則に並ぶ設備が、観る人を夢幻の世界へと誘います。その幻想的な工場夜景を楽しむことができるスポット等を紹介します。

23 (株)安川電機

資料館 工場見学
住所／北九州市八幡西区黒崎城石2-1
八幡西区

1915年の会社創業以来、産業のオートメーションの推進、メカトロニクスの創造、そして産業用ロボット「モトマン」の開発と、常に先端の技術により開発した製品を社会にご提供してまいりました。ロボット工場見学では、「ロボットがロボットを作る工場」に加え、「ロボットの技術」や「ものづくりの魅力」をお伝えする、「安川電機みらい館」もご見学いただけます。



24 TOTO(株)小倉第一工場/TOTOサニテック(株)小倉工場

工場見学
住所／北九州市小倉北区中島2-1-1
小倉北区

TOTOの創立は大正6年。まだ日本では下水道が整備されていなかった時代に「健康で文化的な生活を提供したい」という思いを抱き、衛生陶器の開発製造に取り組み始めました。小倉第一工場では、生活に身近な衛生陶器を製造しており、工場見学では成形工程や24時間かけて焼き上げるトンネル窯などを見学できます。



25 TOTOミュージアム

資料館
住所／北九州市小倉北区中島2-1-1
小倉北区

2017年にTOTO創立100周年を迎え、記念事業としてTOTOミュージアムを2015年に本社敷地内に設立。創業から現在に至るまでの歴史の紹介と、腰掛式水洗便器や洗面台、また1964年にホテルニューオータニへ納入した日本初となるユニットバスルーム（JIS規定による）など、約1,000点展示しています。当館は、水まわりの「歴史」と「文化」の発展においてTOTOが果たしてきた役割やTOTOのものづくりへの思いをお伝えする施設です。



26 日産自動車九州(株)

工場見学
住所／福岡県京都郡苅田町新浜町1-3
苅田町

1975年に九州初の自動車生産工場として稼働を開始して44年。現在では、日産グループで国内最大の生産能力を持つ工場です。工場見学では、車ができるまでを見学できます。2019年1月にリニューアルしたゲストホールでは、展示車両に触れたり、日産のものづくりを学ぶことができます。



27 (株)デンソー九州

工場見学
住所／北九州市八幡西区本城5-4-1
八幡西区

自動車メーカー各社のカーエアコンやラジエータ、ディーゼル専用コンモレーターシステム部品などを生産している自動車部品メーカーです。1台あたり100点以上の部品で構成されるカーエアコンを、目的に応じて「人の手」または「ロボット」で組み付けている生産ラインや、1/1,000ミリの精度を求められる、超精密ディーゼル部品の組み立て作業を行うクリーンルームなどを見学できます。



28 (株)戸畑ターレット工作所

工場見学
住所／北九州市小倉南区新曾根11-31
小倉南区

銅・真鍮(しんちゅう)・アルミ・ステンレスを中心とした非鉄金属を素材として、自動車部品・電力機器部品・住宅設備機器部品を製造しています。鍛造や鋳造(アルミダイカスト)など日頃見ることができない金属の塑性加工や切削加工などをご覧いただけます。中小企業ではありますが、研究開発を行ったり、地域の産業人材育成を目的としたインターンシップを積極的に受け入れている会社です。



「日本新三大夜景都市」に認定された北九州市の夜景

A 高塔山公園【日本夜景遺産】

若松区
標高124mの展望台からは、洞海湾にかかる雄大な若戸大橋や工場群、皿倉山や響灘を一望することができます。



B 皿倉山【日本夜景遺産】

八幡東区
山頂展望台から眺める絶景は、「100億ドルの夜景」といわれ、新日本三大夜景に選ばれています。市街地や工場群を大パノラマで眺めることができます。



北九州夜景観賞定期クルーズ

煌びやかな灯りが幻想的に放たれる工場夜景は、ものづくりの街ならではの風景。ナビゲーターの案内を聴きながら、特別なひと時をお楽しみください。

運航コース

小倉港発 工場夜景観賞コース
第1・2・3・5土・日曜日 【集合場所】市営渡船[馬島・藍島行]乗り場(小倉北区浅野)
渡船乗り場 ⇒ 小倉・戸畑の工場夜景 ⇒
若戸大橋 ⇒ 洞海湾 ⇒ 渡船乗り場

門司港発 関門夜景+工場夜景コース
第4土・日曜日 【集合場所】関門連絡船乗り場(門司区西海岸)
連絡船乗り場 ⇒ 関門橋 ⇒ 関門海峡 ⇒
小倉の工場夜景 ⇒ 連絡船乗り場

ご注意とお願い

- ご乗船には事前予約が必要です。当日の予約は電話受付のみの対応となります。
- 運航予定日の6日前までに最少催行人数(20名)に満たない場合は欠航となります。この場合は電話またはメールにてお知らせいたします。
- 集合は出航時刻の15分前までにお願いします。
- 悪天候(強風・濃霧等)の場合は中止になる場合がございます。ご了承ください。

運航について

- 運航日／【小倉港発】第1・2・3・5土・日曜日
【門司港発】第4土・日曜日
4月～9月…19時00分頃発 10月～3月…18時30分頃発
- 定員／70名
- 所要時間／【小倉港発】約110分 【門司港発】約90分
- 集合時間／15分前までに集合ください。

ご利用料金

- 大人／2,500円
- 小学生／1,250円
- 幼児は大人1人に付き1人無料

市内に宿泊の方
乗船代 **10%OFF**
宿泊を証明できるものをご持参ください。

お申込み・お問合せ

関門汽船株式会社 北九州市門司区西海岸1-4-1(マリゲートもじ1階)
TEL 093-331-0222 (受付時間9:00～17:00)
関門汽船 検索 <http://www.kanmon-kisen.co.jp/>

工場見学の詳しい内容等については、ホームページをご確認ください。

北九州 産業観光

検索

※工場見学・資料館の団体利用等は事前に予約が必要です。

製 鉄			
企業・施設名	分 類	問合せ先・見学条件等	
1 日本製鉄(株)九州製鉄所	工場見学	見学申込み詳細はホームページをご覧ください。 https://www.nipponsteel.com/works/yawata/	
2 東田第一高炉	産業遺産	093-582-2391	
3 官営八幡製鐵所 日本事務所	世界遺産		
4 河内貯水池	産業遺産		

石 炭			
企業・施設名	分 類	問合せ先・見学条件等	
5 旧三菱合資会社若松支店(現 上野ビル)	産業遺産		
6 旧古河鉱業若松ビル	産業遺産	093-752-3387	
7 わかちく史料館(若築建設株式会社)	資料館	093-752-1707 (10:00~16:00、月曜・祝日・年末年始休館)	
8 石炭会館	産業遺産		
9 旧ごんぞう小屋(復元)	産業遺産		
10 旧松本家住宅(現 西日本工業倶楽部)	産業遺産	093-871-1031 (食事等要予約)	

陸 海 運			
企業・施設名	分 類	問合せ先・見学条件等	
11 九州旅客鉄道(株)小倉総合車両センター	工場見学	093-561-0125 (小学校高学年以上、8~40名)	
12 旧大阪商船	産業遺産	093-321-4151	
13 九州鉄道記念館	資料館・産業遺産	093-322-1006 (9:00~17:00、要入館料、第二水曜休館[7月は第2水曜日休館、8月は休館なし])	
14 旧門司税関	産業遺産	093-321-4151	
15 門司赤煉瓦プレイス	産業遺産	093-382-1717	
16 旧門司三井倶楽部	産業遺産	093-321-4151	

環 境			
企業・施設名	分 類	問合せ先・見学条件等	
17 シャボン玉石けん(株)	工場見学	093-588-5489 (小学3年生以上)	
18 九州製紙(株)北九州工場	工場見学	093-551-8150 【北九州市観光課】 (小学5年生以上、40名まで)	
19 北九州市エコタウンセンター	資料館・工場見学	093-752-2881 見学申込み詳細はホームページをご覧ください。 http://www.kitaq-ecotown.com/tour/schedule.php	
20 環境ミュージアム	資料館	093-663-6751 (10:00~17:00、月曜・年末年始休館)	
21 九州電力(株)新小倉発電所	工場見学	093-591-4060 (小学生以上、80名まで)	
22 (株)フジコー	工場見学	093-871-3724 (中学生以上、10~20名)	

先端技術			
企業・施設名	分 類	問合せ先・見学条件等	
23 (株)安川電機	資料館・工場見学	見学申込み詳細はホームページをご覧ください。 https://www.yaskawa.co.jp/company/tour	
24 TOTO(株)小倉第一工場 TOTOサニテクノ(株)小倉工場	工場見学	093-951-2053 (中学生以上対象、5~30名) 事前予約制(3ヶ月~14日前までにお電話でお問合せください)	
25 TOTOミュージアム	資料館	093-951-2534 (10:00~17:00、月曜・夏季休暇・年末年始休館)	
26 日産自動車九州(株)	工場見学	093-435-1137	
27 (株)デンソー九州	工場見学	093-693-1111 (小学5年生以上、10~60名)	
28 (株)戸畑ターレット工作所	工場見学	093-471-7403 (高校生以上、5~30名)	



ACCESS 北九州市へのアクセス

- 飛行機**
- 東京から 羽田空港→北九州空港 1時間30分
 - 静岡から 静岡空港→北九州空港 1時間30分
- 新幹線**
- 東京から 東京駅→小倉駅 4時間30分
 - 名古屋から 名古屋駅→小倉駅 3時間30分
 - 大阪から 新大阪駅→小倉駅 2時間30分
 - 鹿児島から 鹿児島中央駅→小倉駅 2時間00分
- フェリー・船**
- 大阪から 大阪南港/神戸港→新門司港 12時間
 - 泉大津港→新門司港 13時間
 - 松山から 松山観光港→小倉港 7時間

産業観光ガイド・工場夜景ナビゲーターのご案内

旅行会社 企業・団体の皆さまへ



皆さまの産業観光や工場夜景のツアーに同乗し、北九州の歴史をはじめ様々なトピックスをお話しします。「産業観光ガイド・工場夜景ナビゲーター」が知的好奇心をくすぐる旅へご案内いたします。

- 産業観光ガイド 【対象】昼の工場見学**
- 料金：2,000円(最大4時間まで、以降1時間毎500円)
 - 「ガイドのピックアップ場所~工場」の間や「工場~工場」の間など、バス車内で車窓を見ながら説明を行います。
 - ※訪問先の工場内では、各事業所のガイドが説明します。
- 工場夜景ナビゲーター 【対象】夜の工場夜景観賞**
- 料金：3,000円
 - 工場夜景観賞の船やバスへ同乗し、工場夜景スポットの解説等を行います。
- 問合せ先 **北九州産業観光センター 093-551-5011**

官営八幡製鐵所 日本事務所眺望スペース

